

第6次沖縄県男女共同参画計画～DEIGOプラン～(案)に対する意見への回答

番号	該当箇所	意見の内容	回答案
1	P1 第1章 計画の基本的な考え方 P7 第2章 目標1 施策1-1「男女が共に家庭生活に参画するための意識啓発」	1ページの3段落で、令和2年の意識調査で男女の平等感は、前回より平等と感じる割合が低下しているとあり、社会全体を見ても男女ともに8割の人が「男性優遇」と感じ、固定的性別役割分担意識が存在していることを表していると考えられるともある。学校現場においては「性別で分けない名簿」の導入は進んだが、整列や持ち物などの男女別がまだみられる。女性が主に家事・育児・介護等を担っている事実や女性の立候補者・当選者が少ない結果は、子どもたちへの「隠れたカリキュラム」となっている。第5次計画と同様の構成では計画推進は難しいと考える。目標1の施策1-1「男女が共に家庭生活に参画するための意識啓発」も、意識改革とすることが望ましいと考える。	○固定的性別役割分担意識については、時代とともに変わりつつあるものの、依然として家事や育児等の多くを女性が主に担っている状況があり（県民意識調査）、意識の改革が必要であると考えことから、ご意見のとおり、目標1の施策1-1を「男女が共に家庭生活に参画するための意識改革」に修正します。
2	P27 第2章 目標4 施策4-3 次世代に向けた意識啓発及び教育の推進	目標4の施策4-3「次世代に向けた意識啓発及び教育の推進」とあるが、次世代への意識啓発だけではなくすべての人の意識の変革が求められると考える。国に倣い、「男女双方の意識改革」の文言がほしい。【現状と課題】は、現状についての具体的な記述を挿入してほしい。	○すべての人の意識啓発については、施策4-2「ジェンダー平等や性の多様性に関する意識啓発の推進」において、あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進を記載しております。この中で、ご意見を踏まえ、「一人一人が自分のこととして認識し、意識の改革が図られるよう」という文言を追記しました。 ○ご意見を踏まえ、現状についての具体的な記述を追加します。
3	P27 第2章 目標4 施策4-3 次世代に向けた意識啓発及び教育の推進	【具体的施策】51 学校教育の充実 2行目の「男女相互の理解とよりよい関係の構築や協力の重要性、家庭生活の大切さについて、社会科、家庭科、情報化、特別の教科道徳、特別活動等の」は削除し、「男女共同参画の重要性」を挿入してほしい。家庭生活の大切さや教科の特定は不要と考える。54 教職員研修の充実の文言の前に、「校長をはじめとする」を挿入してほしい。	○意見についての51 学校教育の充実 2行目以降は、「人権の尊重、ジェンダー平等、男女共同参画の重要性について、」に変更致します。 ○教科名の明記については、学習指導要領において男女共同参画に関連する内容が示されている教科を広く県民に示すためであり、教科を限定しているものではないため、原文通りとします。 ○54 教職員研修の充実については、原文通りとし、具体的事業一覧に「管理職研修」を追記致します。